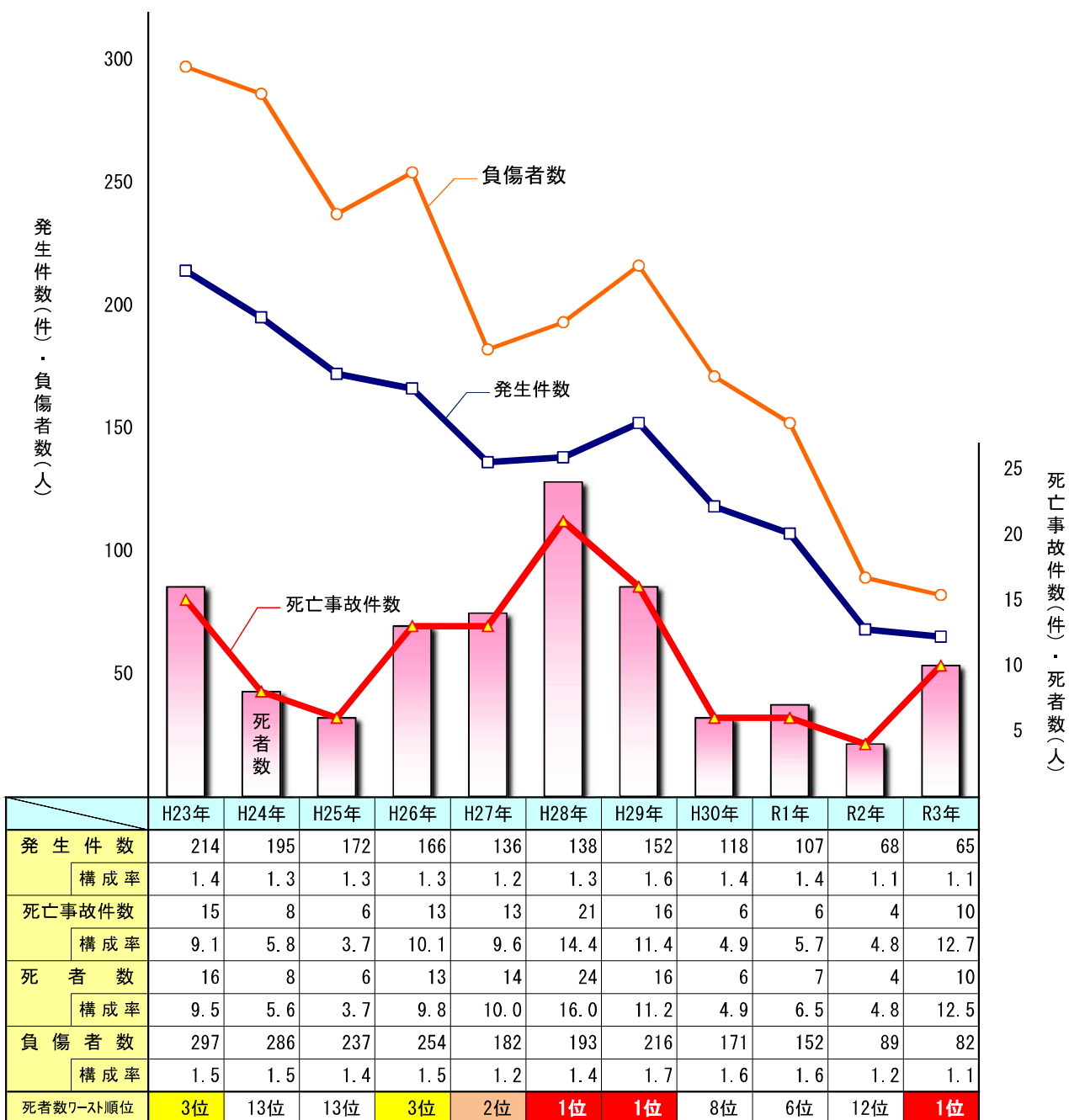


第3 飲酒運転による交通事故

1 推移(平成23年～令和3年)

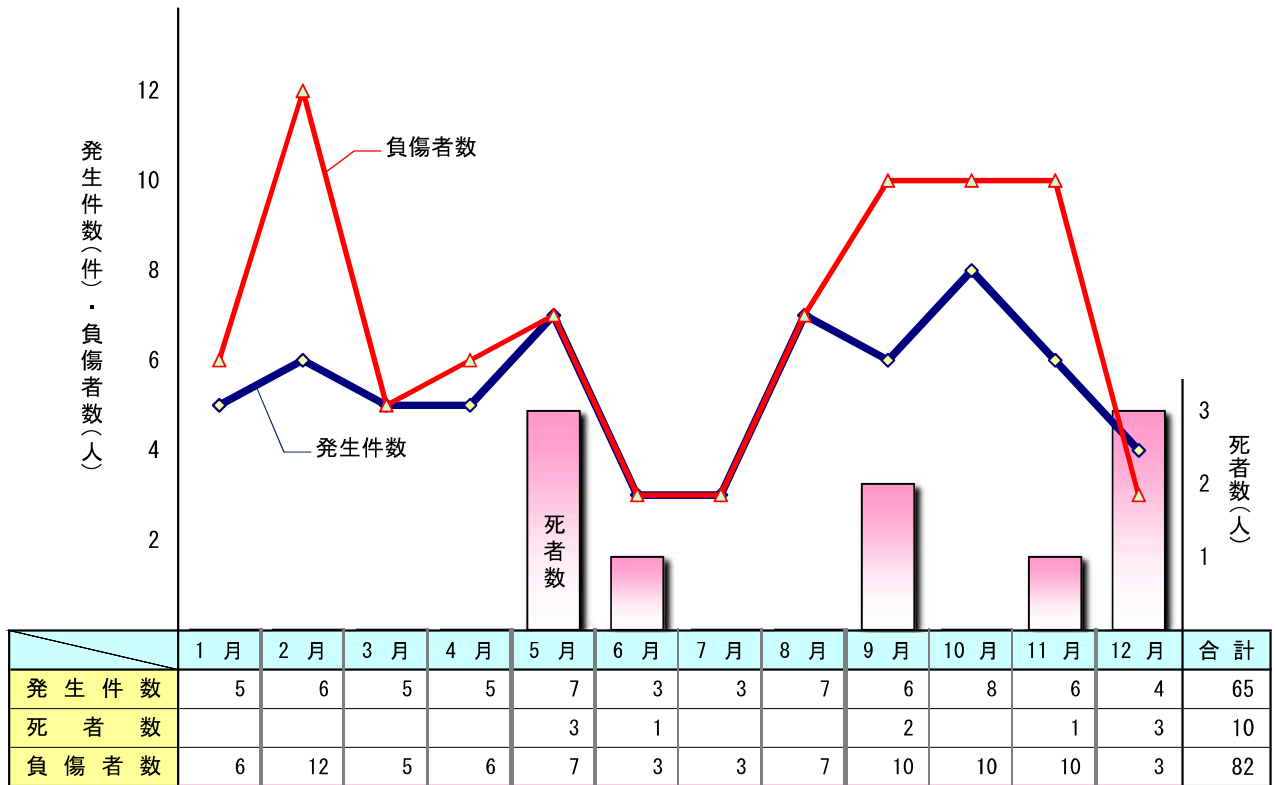
発生件数は減少推移、令和3年は統計資料の残る昭和42年以降で最少となりました。
 死者数は増減を繰り返して推移、令和3年は増加しました。
 令和3年の死者数全国順位は、ワースト第1位でした。



※1 「発生件数」は、身体に酒気を帯びた状態で原付以上の車両を運転していた者が、第1当事者となった交通事故の件数で、「死亡事故件数」は内数である。
 2 「死(負傷)者数」は、前記交通事故による全ての死(負傷)者数をいい、飲酒運転者本人の死傷を含む。
 3 「構成率」は、全交通事故(発生件数、死亡事故件数、死者数、負傷者数)に占める割合である。
 4 飲酒運転の罰則強化等を含む改正道交法施行は、平成14年6月、平成19年9月、平成21年6月の計3回である。
 5 飲酒運転による死者数の全国ワースト第1位は、過去8回(平成3年、5年、7年、9年、10年、11年、28年、29年)で、都道府県別の統計資料は、平成2年以降現存している。

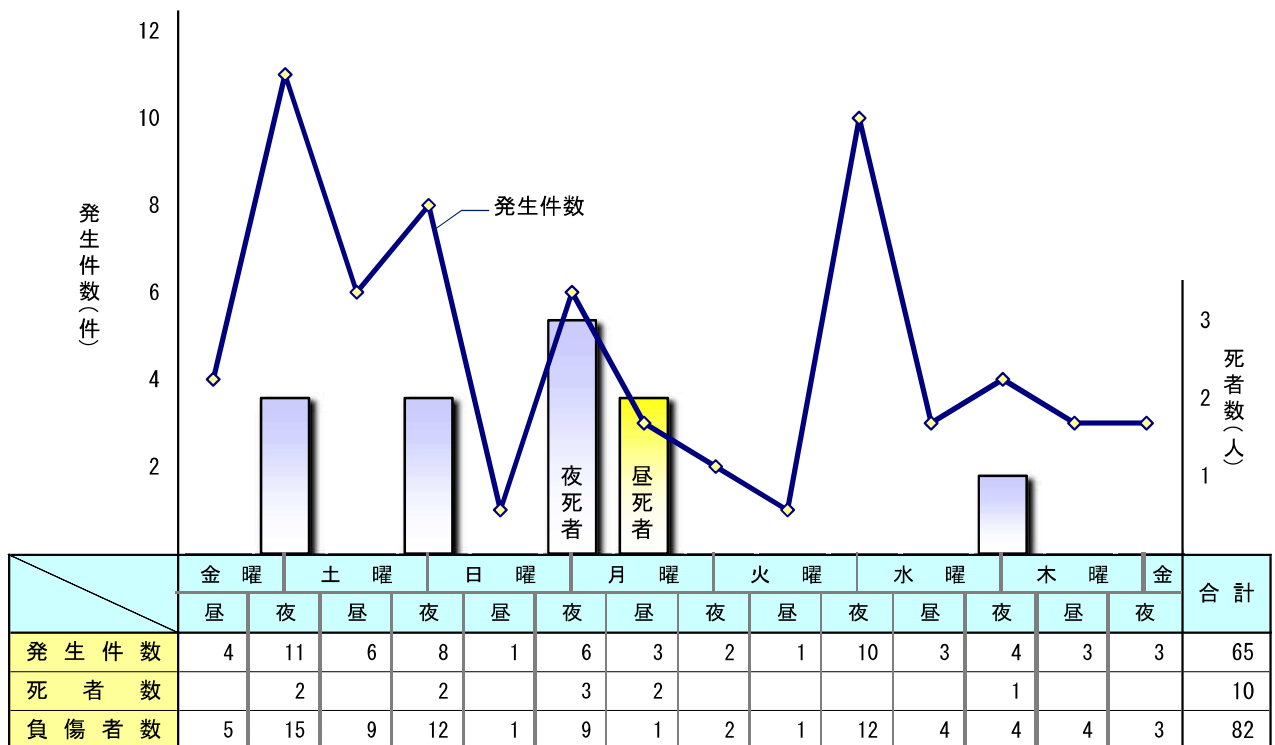
2 月 別

発生件数は「10月」が最も多く、次いで「5月」・「8月」の順となっています。
 死者数は「5月」・「12月」(各3人)が最も多くなっています。



3 曜日・昼夜別

発生件数は「金曜から土曜にかけての夜」が最も多く、次いで「火曜から水曜にかけての夜」となっています。
 死者数は「日曜から月曜にかけての夜」が最も多くなっています。

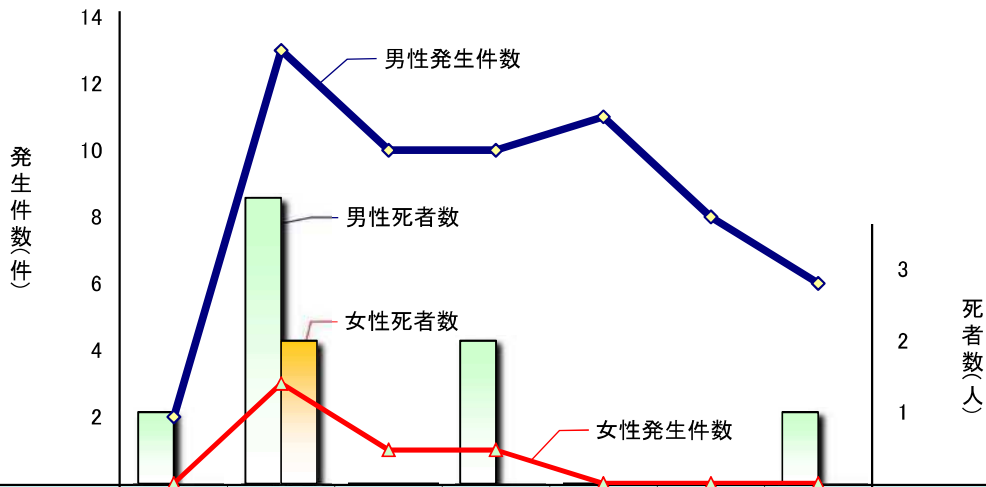


※ 昼夜の区分は、日の出、日没時刻を基準とした。

4 男女・年齢層別

発生件数、死者数とも「20歳代」が最も多くなっています。

男女別発生件数では、男性、女性とも「20歳代」が最も多くなっています。



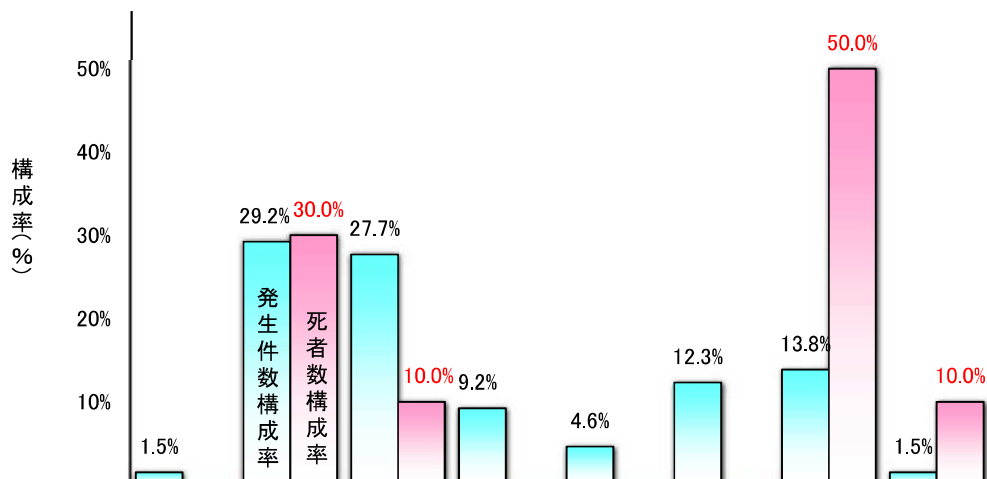
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	内数		合計
									青少年	高齢者	
発生件数	男	2	13	10	10	11	8	6	9	11	60
	女		3	1	1				2		5
合計		2	16	11	11	11	8	6	11	11	65
死者数	男	1	4		2			1	2	1	8
	女		2						2		2
合計		1	6		2			1	4	1	10

※「青少年」は16～24歳、「高齢者」は65歳以上で、内数である。

5 事故類型別

発生件数は「車両相互-正面衝突」(19件、29.2%)が最も多く、次いで「車両相互-追突」の順となっています。

死者数は「車両単独-工作物」(5人、50.0%)が最も多く、次いで「車両相互-正面衝突」となっています。



	人対車両	車両相互					車両単独		列車	合計
		正面衝突	追突	出会い頭	右折時	その他	工作物	その他		
発生件数	1	19	18	6	3	8	9	1		65
死者数		3	1				5	1		10
負傷者数	1	26	25	7	4	8	11			82

※ このグラフは「発生件数」及び「死者数」の構成率比較である。

6 市町村・警察署別

市町村別の発生件数は「古河市」(7件)が最も多く、次いで「神栖市」(6件)の順、死者数では「日立市」・「銚田市」・「鹿嶋市」・「神栖市」・「河内町」・「かすみがうら市」・「石岡市」・「つくば市」・「古河市」・「坂東市」が各1人となっています。

警察署別の発生件数は「古河警察署」(7件)が最も多く、次いで「神栖警察署」(6件)の順となっています。

○ 市町村別発生状況

	発生件数		死者数		負傷者数	
	順		順		順	
水戸市	3	4			3	4
茨城町	19	1			16	2
大洗町						
笠間市	19	1			24	1
城里町						
ひたちなか市	5	3			7	3
東海村						
那珂市	19	1			16	2
常陸大宮市	19	1			16	2
常陸太田市						
大子町						
日立市	5	3	1	1	16	2
高萩市	19	1			24	1
北茨城市						
銚田市	19	1	1	1		
鹿嶋市	11	2	1	1	7	3
神栖市	2	6	1	1	1	11
行方市	11	2			16	2
潮来市						
龍ヶ崎市	19	1			24	1
河内町	5	3	1	1	7	3
牛久市	11	2			7	3
阿見町	19	1			16	2
稲敷市						
美浦村						
土浦市	5	3			7	3
かすみがうら市	19	1	1	1	7	3
石岡市	11	2	1	1	16	2
小美玉市	11	2			3	4
つくば市	3	4	1	1	7	3
筑西市	5	3			3	4
下妻市						
八千代町	11	2			7	3
桜川市						
結城市						
常総市	11	2			16	2
つくばみらい市						
古河市	1	7	1	1	2	8
境町	11	2			3	4
坂東市	5	3	1	1	7	3
五霞町						
取手市						
守谷市	19	1			24	1
利根町						
高速道路						
合計		65		10		82

※ 表内順位は多い順とした。

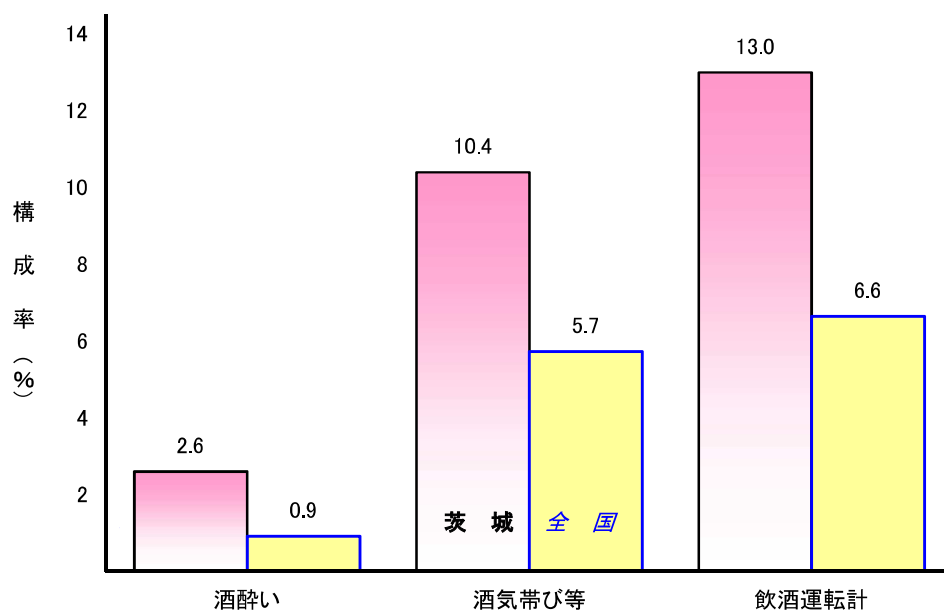
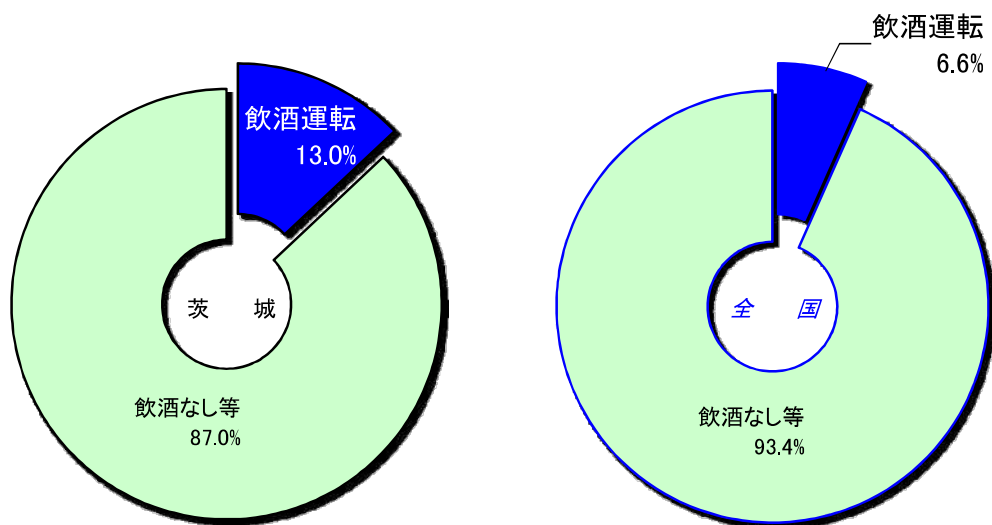
○ 警察署別発生状況

	発生件数		死者数		負傷者数	
	順		順		順	
水戸	3	5			4	6
笠間	17	1			19	1
ひたちなか	9	3			10	3
那珂	17	1			14	2
大宮	17	1			14	2
太田						
大子						
日立	9	3	1	1	14	2
高萩	17	1			19	1
銚田	17	1	1	1		
鹿嶋	13	2	1	1	10	3
神栖	2	6	1	1	1	11
行方	13	2			14	2
龍ヶ崎	5	4	1	1	8	4
牛久	9	3			7	5
稲敷						
土浦	5	4	1	1	4	6
石岡	5	4	1	1	4	6
つくば	5	4	1	1	10	3
筑西	9	3			8	4
下妻	13	2			10	3
桜川						
結城						
常総	13	2			14	2
古河	1	7	1	1	2	8
境	3	5	1	1	3	7
取手	17	1			19	1
高速隊						
合計		65		10		82

※ 市町村及び警察署管轄区域とも令和3年12月31日現在とした。

7 全国との比較(死亡事故件数)

原付以上の運転者が第1当事者となった、全死亡事故に占める飲酒運転の割合(構成率)を全国と比較すると、6.4ポイント高くなっています。



	原付以上の第1当運転者				合計
	飲酒運転		小計	飲酒なし等	
	酒酔い	酒気帯び等			
茨城	2	8	10	67	77
構成率	2.6	10.4	13.0	87.0	100.0
全国	21	131	152	2,137	2,289
構成率	0.9	5.7	6.6	93.4	100.0

- ※1 対象は、原付以上の運転者が第1当事者となった死亡事故件数である。
 ※2 「酒酔い」とは、アルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態をいう。
 ※3 「酒気帯び等」とは、身体に酒気を帯びた状態で「酒酔い」に至らないものをいう。
 ※4 「飲酒なし等」には、「調査不能」を含む。